

サンタ・サングレ／聖なる血（1989）

SANTA SANGRE

メディア 映画

ジャンル モンド

製作国 イタリア

色彩 Color

時間 122分

初公開日 1990/01/27

公開情報 ケイブルホーグ

【キャッチコピー】

「エル・トポ」「ホーリー・マウンテン」、伝説の ヘッド・シネマの高僧アレハンドロ・ホドロフスキーが ショックと神秘の世界に帰ってきた。

【解説】

サーカス団長のオルゴとブランコ乗りコンチャの間に生まれたフェニックスは繊細で感受性豊かな少年。父オルゴは女たらしのサディストで現在の相手は“刺青の女”。少年はその養女6歳のアルマにほのかな思慕を抱いている。狂信的にある偶像――二人の男に強姦され両腕を切り落とされ“聖なる血”を流す乙女の像――を崇拜する母コンチャは、オルゴの浮気現場を発見、彼の下半身に硫酸を浴びせるが、これに激怒した夫は彼女の腕を切断し、自らも喉をかつ切って果てる。この一部始終を目撃したフェニックスはショックの余り精神を病んで施設に収容された。やがて成長した青年フェニックス（ホドロフスキーの息子アクセル）は、病んだ精神を母の狂気に操られて、女すべてへの身の毛もよだつ復讐を繰り返すが、そこへすっかり娘となったアルマが現われる……。 「エル・トポ」「ホーリー・マウンテン」といった衝撃作を撮ったホドロフスキーの、本人いわく“初めて観客のために製作した”という作品。メキシコで30人もの女を殺し庭に埋めていたという分裂症（現在は退院し作家として活躍中）の人物に取材した本作は、そのグロテスクな映像によって、前二作のような詩的感興に乏しい映画となった。

【クレジット】

監督	アレハンドロ・ホドロフスキー	Alejandro Jodorowsky
製作	クラウディオ・アルジェント	Claudio Argento
製作総指揮	アンゲロ・イアコノ	
	ルネ・カルドナ・J r	Rene Cardona, Jr.
原案	アレハンドロ・ホドロフスキー	Alejandro Jodorowsky
	ロベルト・レオーニ	Roberto Leoni
脚本	アレハンドロ・ホドロフスキー	Alejandro Jodorowsky
	ロベルト・レオーニ	Roberto Leoni
	クラウディオ・アルジェント	Claudio Argento
撮影	ダニエル・ナンヌッツィ	Daniele Nannuzzi
音楽	サイモン・ボスウェル	Simon Boswell
出演	アクセル・ホドロフスキー	Axel Jodorowsky
	ブランカ・グエッラ	Blanca Guerra
	ガイ・ストックウェル	Guy Stockwell
	セルマ・ティゾー	
	サブリーナ・デニソン	